



品川シルバー大学同窓会

2026年3月31日

会 報

第 120 号

品川シルバー大学同窓会 事務局
TEL 070-4390-3258
ssu.dosokai.jm@gmail.com

見学会・講演会のメールでの申込みは ssu.dosokai@gmail.com (問合せ080-6634-6797)

第 27 回定期総会について

会員の皆様にはお元気にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

品川シルバー大学開校に遅れること7年、2000年(平成12年)に発足した品川シルバー大学同窓会も



27回目の定期総会を迎えることとなりました。これも偏に同窓会の旗の下にお集まりいただいた会員の皆様と先輩の皆様の賜物と深く感謝申し上げます。

2025年度(令和7年度)事業等もほぼ計画通り、講演会5回、見学会6回と会報発行6回を実施することができました。講演会には延べ530名程度、見学会には延べ560名程度の参加を得、平均すると会員の皆様にはお一人3回程度見学会や講演会に参加いただいたことになります。これらにより当同窓会の目的である、「生涯学習を通じて豊かで生きがいのある生活の創造」にいささかでも寄与できたのではないかと思料し、会員の皆様のご協力に感謝いたします。

2026年度(令和8年度)第27回定期総会は、来る4月24日(金)品川区立中小企業センター3階大会議室で行うこととしております。定期総会は同窓会にとって最高の意思決定の場であり、①前年度の事業及び会計報告 ②今年度の事業計画及び予算 ③役員の選出等を審議・決定いたします。

年会費につきましては、近時シルバー大学の修了生が減少傾向にあり新入会員の大幅増も期待出来なくまた、郵便料金等の高騰もあり2026年度から創設以来の2,000円を2,500円に

増額させて頂きました。これにより同窓会の赤字体質から脱却、運営も円滑に行われることとなりましたが、予算の執行に当たっては、役員一同無駄をなくし節減を旨とし効率的な運営に最大限努める所存です。

会員の皆様には、是非定期総会に出席いただき活発な議論をお願いすると共に、新年度におきましても、変わらぬご支援、ご協力をお願いいたします。

品川シルバー大学同窓会 会長 保坂 駒雄

2025年度 第5回講演会

「映画の楽しみ方！ 映画の黄金時代に魅せられて」

講師：映画プロデューサー 明石 渉氏

日 時：

2026年1月30日(金)

13:30~16:00

場 所：

品川区立

中小企業センター 3F

参加者数：106名

「講演会を終えて」

昭和31年の経済白書に「もはや戦後ではない」と記されているように復興に向けて日本



貴重なポスター前で



つい力が入ります

は邁進していました。その時代が映画の黄金時代です。

今回、“黄金時代の映画をより楽しむ”というテーマのもと、前半を人生“出会い”の素晴らしさ、後半を“こだわり”の見事さを軸に話させていただきました。

近所には映画館があって、生活の一部に映画があった時代。スクリーンでスターと出会い、憧れ、夢をもらい、自分の人生を作っていました。

スターが神話になった出会い——オーディリー・ヘップバーンは「ローマの休日」でオスカーを受賞するまでにいろいろな出会いがあったと自身で言っています。アメリカを代表するジョン・ウェインは…。“世界のミフネ”といわれた三船敏郎の場合、もしニューフェイス・オーディションの審査員に高峰秀子がいなかったら映画界に入っていなかったかも知れないと思うと二人の出会いは運命的でした。夢にまで見たスターとの出会い。来日したオーディリーとの面会が実現して私が創った写真集を手渡した時の彼女の対応やアラン・ドロンの『エマニエル夫人』のシルヴィア・クリステルと会って目の当たりにしたその言動は鮮烈に残っています。13年担当を務めた三船敏郎の奥深さには思わず涙がでました。映画には監督や俳優の見事なアイデアや“こだわり”があります。

様式美といわれた時代劇、水戸黄門の旅姿、旗本退屈男の諸羽流正眼崩しの殺陣（型）、眠狂四郎の円月殺法など原作には詳しく記されていません。ではどのようにして。それが今日まで変わらずに引き継がれています。

日本映画の水準の高さを世界に知らしめ、戦後復興のひとつの象徴にもなった黒澤明の「羅生門」。国際映画祭の場でグランプリを

受賞した影にイタリア女性の熱意とそれまでの日本映画の作り方を革新した数々のキャスト、スタッフワークがありました。

小津安二郎が海外で絶賛された“小津調”といわれる巧みな表現力はいまだ多くの若い映画ファンに支持されています。

映画はストーリーだけで観てはもったいないです。第七芸術といわれる見事さ、感動がいっぱい詰まっています。アメリカ映画、ヨーロッパ映画、日本映画の作品やスターの“奥”をあらゆる角度から、当時のポスター、パンフレット、サイン、写真などの展示を休憩時にご覧いただきながら解りやすく楽しく話させていただきました。ありがとうございました。



懐かしいポスタープログラム

2025年度 第5回見学会

日 時：2026年2月17日（火）10:30～12:30

場 所：愛宕神社参拝とNHK放送博物館見学

参加者数：86名

「見学会に参加して」

前日の雨が止み、真冬の寒さが戻った旧元日の2月17日、愛宕神社の下、急勾配の階段「出世の階段」の前に立ち、気合を入れ直してから86段の階段を息を切らせて登りきった先で、受付と班分けを済ませて見学会が始まった。この「出世の階段」を登れば、名声が手に入り、出世をされると言われているが、今更そんな必要はないと思いつつ。

愛宕神社は、火の神様で徳川家康が戦勝を記念して建てたと言われており、他にも社殿には恵比寿や大黒を祀る3つの社があり、弁財天を祀る社もある、と同行のシルバー大学の案内の方から教わった。更に境内には都内で最も高い山であることを示す「三角点」が設



長い石段でした

置されていることも教わった。

それぞれの社の前で手を合わせると、すっかり心が洗われて、一瞬だがきれいになった気がした。

愛宕神社の周辺は開発が進み、超高層のマンションや高層ビルが林立しており、更に今、愛宕神社の真ん前の土地でマンションが建設中で、これができたらどんな景観に変わるのだろうか、と、東京の建設ラッシュに思った。

続いてNHK放送博物館へ

放送100年と言われておりその長い歴史の一端を知ることができる博物館で、戦前からの歴史的放送（勿論ラジオ）からテレビ放送の歴史をいろいろな資料で見ることができる興味ある展示が数多く並んでいた。

特に、1948年生まれの私にとって、テレビ放送が始まった1953年からの歩みは、まるでタイムマシンに乗っているような感じであった。小学校時代の相撲番組、若乃花、栃錦。中学生の時の「ひょうたん島」。高校生になってカラー放送で見た「東京オリンピック」。初の衛星放送で知った「ケネディ大統領暗殺」。就職してからの「大阪万博」、「浅間山荘事件」。この年、海外赴任したなあ。1ドル360円だったなあ。赴任地で見た「ジュディ・オング」



愛宕神社にて

きれいだったなあ…と、様々な思い出が、次々と巡って、いつまでもその場に立って眺めていたい気がし、やはり自分はテレビ人間だなと知った。

今は、テレビなどの公共放送よりスマホでニュースを知る機会が多いと聞くが、どうしてもそれに馴染めない自分がある気がしている。又、後で知ったことだが、博物館内ではスマホで展示の案内を聞ける「音声ガイドツアー」というものがあるそうで、知っていればもっと深く博物館をすることができたとスマホ音痴の自分に残念に思った。

最後になりましたが、このような企画をしていただいたシルバー大学幹事の方々のご努力に感謝申し上げます。これからも素晴らしい企画をお願いいたします。

辻 謙一



NHKの新技术

武蔵小山商店街は絶対楽しい

テリー伊藤

やっぱり武蔵小山商店街は楽しい。個人的には銀座、渋谷、青山辺りの繁華街を歩くよりウキウキする。銀座をウインドウショッピングしても、洋服、靴、アクセサリなどチョットいいなと思っても価格がひと桁違うこともしばしば。私の場合この歳になり高価なものに興味湧いてこない。そこで登場するのが我が心の故郷「武蔵小山商店街」なのだ。

去年のクリスマスシーズン、商店街一丸となってクリスマス飾りをしていたのだが、どう見ても歳末大売り出しになっていた。若者に人気の六本木ヒルズのイルミネーションとは対照的だった。しかし2月になると、かつて東洋一の長さを誇ったアーケードが俄然魅



雑貨食品「カルディ」の店先で試供品のコーヒーを飲んで帰路に。商店街滞在時間2時間

W・B・C ネットフリックス ひとり勝ち ゆみこ

定期総会準備のため、120号の発送が例年通り遅くなりました。テリー伊藤氏から武蔵小山礼讃の記事が入りましたお楽しみいただけましたか？各ひとことは別紙にて。 (S.K)

日時 2026年7月24日(金)